

社会資本総合整備計画 事後評価書												令和07年12月01日
計画の名称	大東市下水道 安全・安心な基盤整備の推進（防災・安全）											
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 （5年間）									重点配分対象の該当		
交付対象	大東市											
計画の目標	公共下水道事業を推進することにより、市民の快適で安全・安心な暮らしを守る。											
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		1,677	A	1,677	B	0	C	0	D	0 効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D） 0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和2年度	令和4年度末	令和6年度末
1	都市浸水対策達成率を96.6%から97.1%にする			
	都市浸水達成率（%） （ 整備済面積（ha） / 雨水計画面積（ha） ） × 100 （雨水計画面積：1239.04ha）	96%	97%	97%
2	下水道総合地震対策計画（第2期）に位置付けられた管渠に対する耐震化進捗率を0%から100%にする。			
	下水道総合地震対策計画の耐震化進捗率（%） （ 耐震化済延長（対策不要管渠含）（m） / 耐震化すべき計画延長（第2期）（m） ） × 100 （計画延長：4040m）	0%	50%	100%
3	下水道ストックマネジメント計画に位置付けられた管渠に対する老朽化対策進捗率を0%から80%にする。			
	下水道ストックマネジメント計画の老朽化対策進捗率（%） （ 老朽化対策済延長（対策不要管渠含）（m） / 老朽化対策すべき計画延長（m） ） × 100 （計画延長：5220m）	0%	40%	80%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大東市	直接	大東市	管渠（ 合流）	新設	大東市流域関連公共下水 道事業（鴻池処理区）	合流管 600 L=95.0m	大東市						77		-
	A07-002	下水道	一般	大東市	直接	大東市	管渠（ 合流）	新設	大東市流域関連公共下水 道事業（川俣処理区）	合流管 600～250 L=1307 .5m	大東市						456		-
	A07-003	下水道	一般	大東市	直接	大東市	管渠（ 合流）	改築	下水道総合地震対策事業	耐震診断、詳細設計、地震対 策	大東市						688		策定済
		下水道総合地震対策計画																	
	A07-004	下水道	一般	大東市	直接	大東市	管渠（ 合流）	改築	下水道ストックマネジメ ント事業	計画策定、点検調査、詳細設 計、改築工事	大東市						424		策定済
		下水道ストックマネジメント計画																	
	A07-005	下水道	一般	大東市	直接	大東市	管渠（ 合流）	新設	雨水対策事業	計画策定	大東市						17		-
	A07-006	下水道	一般	大東市	直接	大東市	-	-	下水道情報デジタル化支 援事業	維持管理情報のデー タ調整	大東市						15		-
										小計						1,677			

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						1,677		

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本市上下水道局内の組織にて実施	令和7年12月
	公表の方法
	本市公式ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>【都市浸水達成率】 本計画期間（令和2から6年度）での管渠築造工事により、約6.2haの整備面積増となった。</p> <p>【下水道総合地震対策計画の耐震化進捗率】 下水道総合地震対策計画により、重要な路線下に埋設された管渠の耐震化を実施し、災害時における下水道の機能確保が図られた。</p> <p>【下水道ストックマネジメント計画の老朽化対策進捗率】 公共下水道施設の計画的、効率的な維持管理を進めるため、ストックマネジメント実施方針に基づく計画を実施し、計画以上の改築更新を進めることができた。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も、計画的かつ効率的な公共下水道整備を進め、市民の生活環境の向上を図るとともに、将来にわたり快適に暮らせるまちづくりを進めることに寄与する。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	都市浸水対策達成率		
	最 終 目標値	97%	
	最 終 実績値	97%	
2	第2期総合地震対策耐震化進捗率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
3	第1期ストックマネジメント老朽化対策進捗率		
	最 終 目標値	80%	計画どおりに事業が進み、延長を精査した結果、目標値を上回った。実計画延長：5,836.97m、令和6年度末時点未対策延長：75.57m
	最 終 実績値	99%	

(参考図面) 市街地整備

